

文化財課の事業概要

1 令和7年度事業報告

(1) 文化財関係

ア 内津文化財祭

県指定文化財の内々神社社殿や庭園等を公開し、市民が歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むため雅楽の演奏や棒の手の披露、茶会、俳句等の投句を行った。

開催日	5月11日（日）
場 所	内々神社
参加者数	500人

イ 文化財ボランティア育成

史跡や文化財をガイドする文化財ボランティアの活動を支援し、ボランティア養成講座や資質向上のための研修を行った。

(ア) 養成講座

開催日	【前期】 6月11日（水）・18日（水）・25日（水）、7月2日（水） 【後期】 11月27日（木）、12月4日（木）・11日（木）・18日（木）
入会者数	【前期】 2人 【後期】 4人

(イ) ステップアップ研修

開催日	5月22日（木）、7月9日（水）、 10月10日（金）、3月4日（水）
参加者数	延べ71人

ウ 文化財防火デー

貴重な文化財を火災などの災害から保護し、次世代へ継承するため、文化財防火デーに合わせ、文化財の防火訓練及び巡視を行った。

(ア) 防火訓練

実施日	1月22日（木）
実施場所	密蔵院

(イ) 巡視

実施日	1月22日（木）・23日（金）・27日（火）
対 象	市指定文化財所蔵18寺社等

エ 「郷土誌かすがい」 第84号

郷土史等の調査研究や情報を掲載し、市民が郷土の歴史、民俗、文化財に親しむことを目的とした冊子を発行した。

仕 様	B 5 版、カラー、12ページ
発行日	11月 1 日
部 数	2,500部

オ 郷土芸能出前講座

地域の郷土芸能保存団体を小学校に招き、郷土芸能を紹介・披露してもらい、団体の指導により児童が練習や発表を行うことで、民俗芸能の幅広い担い手の育成を目的として行った。

開催校	篠木小学校	出川小学校	神領小学校
開催日	11月13日(木)	11月21日(金)	12月 9 日(火)
参加児童数	4年生 113人	4年生 99人	4年生 73人
保存団体	小木田、大留下、出川町棒の手保存会		

カ (仮称) 下街道歴史ひろばの整備

春日井の経済や文化の発展に重要な役割を果たした下街道に関する歴史を後世にしっかりと伝え、市民が郷土史や文化財に対する愛着や誇りを深めることができる施設を整備するため実施設計を行った。

キ 郷土館特別開館

郷土館の廃止に合わせ、多くの市民の方に改めて郷土館や下街道の歴史、文化を知ってもらうため、特別開館を実施した。

また、特別開館に合わせて、イベント「ありがとう郷土館～地域とともに歩んだ日々～」を実施した。

(ア) 特別開館日

3月14日(土)・21日(土)・28日(土) 午前9時～正午

(イ) ありがとう郷土館～地域とともに歩んだ日々～

a 下街道探訪ウォーキング

ガイドの説明を聞きながら郷土館や鳥居松周辺を歩いた。

日 時：3月14日(土) 午前10時～正午

参加者数：19人

講 師：鳥居松下街道発展会会長 市原和久氏

b 郷土館の歴史講座

郷土館の歩みや下街道についての歴史講座を開催した。

日 時：3月28日(土) 午前10時～11時

場 所：町割公民館

受講者数：30人

講 師：「ふるさと春日井学」研究フォーラム会長 河地清氏
鳥居松街づくり委員会会長 市原和久氏

- c 下街道の昔の風景写真展
下街道の風景や建物など、昔の写真を展示した。
期間：① 3月14日（土）～3月28日（土）
② 4月14日（火）～4月24日（金）
会場：①郷土館
②市役所1階市民ホール

- d （仮称）下街道歴史ひろば完成予想図の展示

ク 文化財の指定（天然記念物の指定）

審議会において審議し、市指定を可とする旨、指定理由書を付して答申。
（令和7年5月23日答申、令和7年6月27日告示）

種 別	天然記念物
名 称	旧中央線のイロハモミジ
員 数	4本
所在地	春日井市玉野町字東谷1667番1
所有者	特定非営利活動法人愛岐トンネル群保存再生委員会

ケ 郷土芸能記録映像の作成

江戸時代から伝わる郷土芸能である「外之原中区獅子神楽」（外之原町）を映像記録として後世に残すとともに、市ホームページで広く情報発信した。

コ 指定文化財・郷土芸能保存

指定文化財や郷土芸能の保存伝承等に対し補助金を交付した。

無形文化財後継者育成補助	2件
無形文化財用具等修理・購入補助	2件
史跡等環境整備補助	3件
有形文化財収蔵庫修理設置補助	1件
建造物火災報知設備点検補助	4件
郷土芸能（保存・伝承）補助	28件
郷土芸能（用具等修理・購入）補助	7件
合 計	47件

サ 文化財管理

史跡等の清掃を地元団体等に委託し、文化財の適切な維持管理を行った。

シ 文化財保護

Web上でVR（バーチャル・リアリティ）による市内遺跡等の見学ツアーを公開した。

また、県指定有形文化財 木造阿弥陀如来坐像（退休寺所蔵）の説明看板を設置した。

期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
閲覧回数	71,180回
名 称	民俗展示室、内々神社庭園、下原古窯、築水池のシデコブシ、伊多波刀神社始め14件

(2) 民俗考古関係

ア ハニワまつり

市を代表する「下原古窯跡群」と「味美古墳群」や、出土した埴輪を市民に啓発し、郷土への愛護意識を育むため、市民参加により制作したハニワを野焼きし、ふれあい緑道（ハニワ道）、二子山公園内及びハニワの館に設置・展示した。あわせて勾玉づくり等の体験工房や地元協力団体による舞台芸能等を行った。

開催日	10月25日（土）
場 所	二子山公園
参加者数	5,200人

イ 企画展示・体験教室等

(ア) 民俗考古展示室

民俗・考古資料の常設展示と体験・企画展示室において企画展を開催した。（令和7年度 見学者数3,120人）

また、森浩一氏より寄贈された図書及び資料を「森浩一文庫」で公開した。

民俗展示室	昔の農具や生活用具等を展示
考古展示室	市内遺跡から出土した遺物を展示
体験・企画展示室	企画展を4回開催（表1参照）

表 1

企画展名	期 間	見学者数
企画展「五月人形～端午の節句～」	4月22日（火）～6月15日（日）	443人
企画展「はにわ入門」	7月1日（火）～9月7日（日）	435人
企画展「陶片から『春日井』のルーツを探る！～律令制と須恵器生産の諸相～」	9月20日（土）～12月28日（日）	952人
企画展「見る、知る『下街道』～鳥居松界限を中心に～」	2月3日（火）～3月31日（火）	780人

(イ) 親子体験教室

親子を対象として、伝統的な習俗などをテーマにした体験教室を行った。

教室名	開催日	開催場所	参加者数
オリジナルのこいのぼり飾りをつくろう	4月26日(土)	中央公民館	23人
勾玉をつくろう (文化財ボランティア協働事業)	7月26日(土)	中央公民館	36人
お寺で座禅！文化財どきどき体験！	7月23日(水)	密蔵院	17人
昔のくらし☆再発見！ (文化財ボランティア協働事業)	8月23日(土)	四つ建て民家 民俗考古展示室 中央公民館	22人
しめ飾りをつくろう (文化財ボランティア協働事業)	12月20日(土)	中央公民館	19人
まゆでおひなさまをつくろう	2月28日(土)	中央公民館	13人

(ウ) 特別講座

国庫補助による埋蔵文化財活用事業として、歴史講座を行った。

テーマ「須恵器と律令制、カタチと規格」

開催日	9月20日(土)・27日(土)・28日(日)
参加者数	延べ212人

(エ) 春日井古代史講座

地域の歴史や文化財に対する市民の関心を深め、古代史上の課題を中心に開催した。

テーマ「科学が解き明かす松河戸遺跡」

開催日	11月8日(土)・15日(土)・22日(土)
参加者数	延べ191人

(オ) 史跡見学

市民団体の申出に応じて、二子山古墳を始め、市内の古窯や古墳の見学に対応した。

件数	8件
人数	155人

(カ) 出前授業

小学3年生及び6年生の社会科の授業に出向き、昔のくらしや校区の歴史を紹介する出前授業を実施した。

学校数	3年生8校、6年生3校
人数	3年生418人、6年生189人

(キ) 校外学習による四つ建て民家・民俗展示室の見学

小学3年生に対して、昭和の初めと40年代を中心とする昔のくらしについて解説した。

学校数	9校
人数	764人

ウ 埋蔵文化財調査

(ア) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び報告書の発行

試掘調査	区画整理事業（西部第一・第二地区）地内、篠木町7丁目、菅大臣町、上条町2丁目、白山町7丁目、上条町1丁目、神屋町、勝川町4丁目、田楽町
確認調査	勝川遺跡、柏井遺跡、南気噴大垣戸遺跡
本発掘調査	上条2丁目遺跡、神領絲田遺跡

(イ) 国庫補助による出土遺物の再整理及び保存・活用

神屋第1号窯再整理
特別講座「須恵器と律令制、カタチと規格」の実施
企画展「陶片から『春日井』のルーツを探る！～律令制と須恵器生産の諸相～」の開催
遺跡解説パンフレットその12 神屋第1号窯の発行

エ 民俗考古調査

(ア) 発掘調査及び調査資料の整理

発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理した。

(イ) 資料の収集、整理、保存

民俗資料を調査・収集するとともに、再整理を行った。

2 令和8年度事業計画

(1) 文化財関係

ア 内津文化財祭

県指定文化財の内々神社社殿や庭園等を公開し、市民が歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むことを目的に開催する。

開催日	5月10日（日）
場 所	内々神社
参加者数	500人
舞台内容等	音乃五条による演奏、棒の手の披露

イ 文化財ボランティア育成

市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアを育成する養成講座を開催する。また、文化財ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を開催する。

(ア) 養成講座

開催日	【前期】 5月21日（木）・28日（木）、6月4日（木）・11日（木） 【後期】 未定
入会者数	【前期】 1人 【後期】 後日募集

(イ) ステップアップ研修

開催日	7月15日（水）、9月16日（水）、11月（予定）、 3月（予定）
-----	--------------------------------------

ウ 文化財防火デー

貴重な文化財を火災などの災害から保護し、次世代へ継承するため、文化財防火デーに合わせ、文化財を火災等の災害から守る訓練等を実施する。

開催日	令和9年1月21日（木）〈予定〉
会 場	密蔵院（予定）

エ 「郷土誌かすがい」第85号

郷土史等の調査研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史を知り、文化財への愛護意識を育むため発行する。（年1回、11月1日発行）

オ 郷土芸能出前講座

郷土芸能保存団体が小学校において郷土芸能を披露し、小学生が体験・練習・発表することで、地域に伝わる郷土芸能を知り、郷土を愛する気持ちを高め、また、幅広い担い手の育成を目的として郷土芸能出前講座を実施する。

開催校	3校（予定）
対象児童	4年生
協力保存団体	小木田、大留下、出川町棒の手保存会（予定）

カ （仮称）下街道歴史ひろば

令和7年度に行った実施設計に基づき、整備する。

令和9年4月1日供用開始予定。

キ 指定文化財・郷土芸能保存

指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存整備などに対し、補助金を交付する。

ク 文化財管理

文化財の保存・保護のため、二子山古墳を始めとする史跡等の適切な管理を行う。

ケ 文化財保護

Web上でVR（バーチャル・リアリティ）による市内遺跡等の見学ツアーを公開する。

期 間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
閲覧回数	16,923回 ※令和8年6月30日現在
名 称	民俗展示室、内々神社庭園、下原古窯、築水池のシデコブシ、伊多波刀神社、旧郷土館始め15件

(2) 民俗考古関係

ア ハニワまつり

市を代表する「下原古窯跡群」と「味美古墳群」や、出土した埴輪を市民に啓発し、郷土への愛護意識を育むため、市民参加により制作したハニワを野焼きし、ふれあい緑道（ハニワ道）、二子山公園内及びハニワの館に設置・展示する。あわせて勾玉づくり等の体験工房や地元協力団体による舞台芸能等を行う。

開催日	10月24日（土）※雨天時、翌日順延
場 所	二子山公園

イ 企画展示・体験教室等

郷土の歴史や文化財の保護・啓発を推進するため、考古・民俗資料を公開するとともに、親子体験教室等の講座を開催する。

ウ 埋蔵文化財調査

(ア) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び報告書の発行

区画整理事業（西部第一・第二地区）や個人住宅等各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るための試掘・確認調査を行う。また、調査の概要をまとめ、報告書として発行する。

(イ) 国庫補助による出土遺物の再整理及び保存・活用

過去に実施した発掘調査において出土した遺物や調査記録を再整理し、その成果に基づいて歴史講座、企画展示等を実施する。

エ 民俗考古調査

(ア) 発掘調査及び調査資料の整理

区画整理事業等で破壊のおそれのある埋蔵文化財について発掘調査による記録保存を行うほか、出土遺物・調査記録を整理する。また、調査成果をまとめた堀ノ内第1号墳発掘調査報告書を発行する。

(イ) 資料の収集、整理、保存

衣食住及び生業に関する民俗資料を中心に収集し、整理・記録する。